

・環境省からのお知らせ・

いっしょに考える『福島、その先の環境へ。』チャレンジ・アワード募集中！

環境省では、福島県と連携し、「いっしょに考える『福島、その先の環境へ。』チャレンジ・アワード」を開催します。このチャレンジ・アワードでは、未来を担う中学生、高校生、大学生などを対象に、震災を経験した福島のこれまでの10年の振り返りと、未来や希望に関する皆様のアイデアや想いを募集します。多くの方のご応募お待ちしております。

応募先、応募資格、応募様式、必須記載事項など詳しい内容はホームページをご覧ください。



■応募テーマ：「福島、その先の環境へ。」

■応募期間：2021年1月18日(月)17時まで

いっしょに考える『福島、その先の環境へ。』

検索

エコライフ・フェア2020 Online 1月17日まで開催中！ 参加無料



毎年6月の環境月間に開催されるエコライフ・フェア。今年は「気づき」から「行動」へ～地球の未来のために～をテーマにオンラインで開催し、環境保全に取り組む企業、団体や環境省が出演しています。また、元なでしこジャパンの丸山桂里奈さんをゲストに、福島県のふたば未来学園の生徒と共に被災地復興・創世を語る復興支援イベント「私たちにできること」は必見です。ぜひご参加ください。

■開催期間：2020年12月19日(土)～2021年1月17日(日)



エコライフ・フェア2020

検索

「ふくしま"みち"さがしアーカイブス～暮らしの目線からの環境再生～」の掲載について



環境再生プラザではこれまで、福島に住む人の目線で、県内各地を訪れ、その土地や人、暮らし、思いなどを知り、学び、これから進んでいく「みち」を共に考えてきました。これまでお話を伺った方々を再び訪問し、当時からこれまでと、これからのことのお話をアーカイブしていきます。ぜひご覧ください。



みちさがし アーカイブス

検索

環境省の情報発信拠点

●中間貯蔵工事情報センター



■所在地 福島県双葉郡大熊町
大字小入野字向畑 256

■開館時間 10:00～16:00

■休館日 日曜日・月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)

■電話番号 0240-25-8377

中間貯蔵施設工事について紹介しています。
毎月バスによる中間貯蔵施設見学会(事前申込制)を開催しています。

●特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま



■所在地 福島県双葉郡富岡町

大字上郡山字太田 526-7

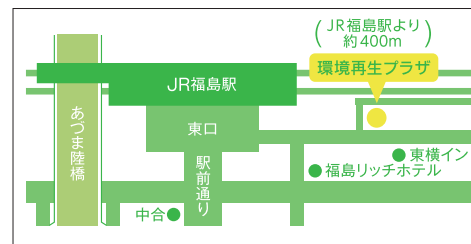
■開館時間 9:00～17:00

■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)

■電話番号 0240-23-7781

特定廃棄物の埋立処分事業について紹介しています。毎週末には参加型イベントや実験教室なども開催しています。

●環境再生プラザ



■所在地 福島県福島市米町
1-31 1階

■開館時間 10:00～17:00

■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)

■電話番号 024-529-5668

福島環境再生への取り組みなどの情報を紹介しています。常駐している専門家による解説や相談などを行っています。

放射線に対する不安軽減の取り組み 2021.1月

ふくしま環境再生 Vol.15



福島県川俣町立川俣南小学校の児童たち

「ふくしま環境再生」では、環境省が進める環境再生事業や地域活性化事業などの情報を定期的にお知らせします。

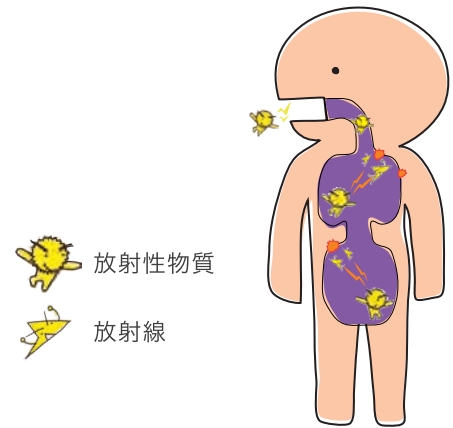


環境省 福島地方環境事務所

環境省では避難指示が解除された地域などで、帰還する住民のうち希望者を対象に内部被ばく検査を実施しています。専門家による丁寧な説明や放射線被ばくについて相談をすることで不安の軽減に努めています。今回は対話を通じた不安軽減の取り組みをご紹介します。

内部被ばくとは？

呼吸や食事で体に放射性物質を取り込み、体の中にある放射性物質から出る放射線を浴びることをいいます。



Point もし内部被ばくをしても、放射性物質は時間とともに体外に排出されます。

ホールボディ・カウンタとは？

体内の放射性物質から出てくる放射線(ガンマ線)を測定する機器をホールボディ・カウンタ(以下WBC)といいます。

※検査機器から放射線を受けることはありません。また、痛みを伴うこともありません。



ホールボディ・カウンタ



測定の様子

内部被ばく検査で何がわかるの？

現在体内にある放射性物質を測定し、概ね一生の間に受けると思われる線量を推計します。その測定結果は、専門家が分かりやすく説明し、放射線の影響について相談にもお答えしています。



WBC搭載車両



説明相談会場



結果説明の様子

どこで検査を受けることができるの？

環境省では、避難指示が解除された10市町村(田村市、川内村、楡葉町、葛尾村、南相馬市、富岡町、浪江町、川俣町、飯館村、大熊町)の協力のもと、お住まいの住民などを対象に検査を行っています。日時や場所などは、各自治体広報紙などでお知らせしています。※検査は無料です。

継続的な検査は必要ですか？

現在、市場に流通している食品については放射性物質検査が行われており、食品中の放射性物質の基準を超えた品目は出荷が制限されています。

そのため、検査の結果で問題がなければ、健康に影響が出る程の放射性物質を摂取する可能性は低く、継続的な検査は必要がないと考えられます。ただし日常生活で不安や心配がある方については、内部被ばく検査を受けることで安心することができると考えられます。

Point 2012年3月以降、1ミリシーベルト以上の数値は計測されていません。

内部被ばくを防ぐ取り組みについて

作物に放射性物質が移らない対策

農産物の生産段階で徹底した農地の除染、放射性セシウムの移行抑制対策を行い、作物が吸収することを防ぐ対策を続けています。

Point 野生のキノコ、山菜類、野生鳥獣の肉類などでは出荷制限されているものもあります。十分に注意しましょう。

食品検査の実施

福島県では、行政・産地・生産者・流通事業者が連携し、県産食品の安全性を確保するため、厳しい検査を経て安全性について確認できたものを市場に流通させています。

福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報

検索

福島県関連情報

■ これまでの放射性物質検査情報

福島県産の農林水産物は、出荷前に県による緊急時環境放射線モニタリング検査を行い、基準値を下回っている地域の品目だけを出荷しています。



■ ホールボディ・カウンタによる内部被ばく検査について

福島県では、県内6方部8カ所にホールボディ・カウンタ搭載車両を常駐させ、内部被ばく検査を実施しています。



■ 内部被ばく検査の結果について

福島県が実施している内部被ばく検査について、過去の実施結果を公表しています。



参考資料

■ データでなっとく放射線まんが なすびのギモン

環境再生プラザのホームページからダウンロードすることができます。ぜひご覧ください。



身の回りの放射性物質編

健康影響編